

1

特集

新型コロナウイルス 職域接種を実施しました

Vol.29
November
2021

埼玉大学では、学生、教職員等の健康を守るため、また地域における感染拡大防止を図るため、学内における新型コロナウイルス職域接種（大学拠点接種）を実施しました。

9月13日（月）～17日（金）に1回目の接種、10月11日（月）～10月15日（金）に2回目の接種が行われ、学生、教職員、大学関係者等のうち接種を希望した者、約2,200人が接種を受けました。ワクチン供給体制逼迫のため、当初の予定より1か月ほど遅れての実施となりましたが、接種した学生からは、「自治体ではなかなか予約が取れなかったため、大学で接種できて良かった」との感想が聞かれました。

1回目接種時は、さいたま市内の薬局等で解熱鎮痛薬等が手に入れづかった状況を鑑み、希望者に解熱鎮静剤カロナールを無償配布する取組も行われ、多くの学生が接種後に受取場所である保健センターへ足を運んでいました。

また、2回目の接種期間中には、本学でワクチン接種を受けた学生を対象に、フードパントリー（食料の無料配布）が行われました。協賛企業からは「コロナ禍の中、バイトもできないで食費を削って苦労している学生に、ぜひ当社の製品を食べて元気を取り戻してほしい」とのメッセージが寄せられ、接種を終えた学生達は笑顔で食料を受取っていました。



▲大学会館3階を接種会場として利用しました



▲経過観察のため待機する学生たち



▲2回目の接種を終え、フードパントリーを受け取る学生



▲協賛企業から提供のあった品々

フードパントリー協賛・コーディネート企業

【協賛企業】 東洋水産株式会社、株式会社ニップン、旭松食品株式会社、UCC上島珈琲株式会社、ホリカフーズ株式会社、テーブルマーク株式会社、三井農林株式会社（敬称略、順不同）

【コーディネート企業】 株式会社物産フードサービス

2 地域 埼大生がワクチン接種に関する補助業務に協力

8月2日(月)から9月末にかけて5名の学生が、さいたま市桜区役所で新型コロナウイルスワクチン接種に関する補助業務に携わりました。

これは、コロナ禍における埼玉県の委託業務を受けたさいたま市の求めに応じたもので、決められた方法でワクチン接種の予約をすることが困難な高齢者や体の不自由な方々の代行申請、さいたま市に住民票のない方のワクチン申請受付、接種クーポン券の再発行手続き等の業務を行いました。

大学近辺で一人暮らしする学生たちからは、「今回のアルバイトは、コロナ禍で人と関わる機会が減ってしまったので気分転換になった」、「収入が増えて生活が安定するので助かった」との声がきかれました。

また、桜区役所においても、6月より行っていた当該業務が繁忙期と重なるため、学生アルバイトの協力は大変ありがたいとのこと、お互いにメリットのある活動となりました。



▲コロナワクチン予約支援窓口の様子

3 地域 市民セミナー 2021「新型コロナウイルス感染症～知って、考えて、防ぐ～」を開催



埼玉大学の教員たちの持つ専門性やネットワークを活かし、様々な独自の視点から新型コロナウイルス感染症についての情報を発信する市民セミナー「新型コロナウイルス感染症～知って、考えて、防ぐ～」の第1回を9月26日(日)、第2回を11月7日(日)にオンラインにて開催しました。第3回は令和4年2月5日(土)に下記のとおり開催予定です。是非ご参加ください。

【第3回】令和4年2月5日(土) 10:00～12:00 -プログラム-

- | | |
|-------------|---|
| 10:10～11:00 | 「新型コロナウイルス感染症 -最前線の医療現場から-」
中村(内山) ふくみ (東京都立墨東病院感染症科 部長) |
| 11:00～11:50 | 「新型コロナウイルス対応で浮かびあがった現代日本の学校教育の姿 -保護者として、また研究者として、その姿を考える」
福島 賢二 (埼玉大学教育学部 准教授) |



▲坂井真文学長による開会の挨拶

4 教育 令和3年度秋季学位授与式を挙行 77名が埼玉大学を巣立つ

9月22日(水)、全学講義棟1号館301講義室において、令和3年度埼玉大学学位授与式を挙行しました。

令和3年秋季は、社会人学生や9カ国からの留学生(中国、パングラデシュ、ベトナム、ネパール、アフガニスタン、インド、エジプト、ギニアビサウ、ミャンマー)を含む77名(博士22名、修士23名、学士32名)が卒業・修了し、坂井学長から学位記が授与されました。

卒業生・修了生のみならず、おめでとうございます。これからの活躍を心よりお祈りしております。

式次第

- 一、開式の辞
- 一、学位記授与
- 一、学長式辞
- 一、卒業生代表挨拶
- 一、修了生代表挨拶
- 一、閉式の辞



▲学位記の授与

5 教育 動画を操作して埼玉大学を様々な角度から見てみよう! —WEBオープンキャンパスでVR動画を公開



「動画で知る埼玉大学」はこちら▶

新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、残念ながら今年度のオープンキャンパスも昨年同様オンラインでの開催となりました。今年はより一層受験生の皆さんに埼玉大学の魅力をお届けするため、360度の角度から埼玉大学を楽しめるVR動画を用意しました。オープンキャンパスは終了しましたが、大学HPの「動画で知る埼玉大学」にて現在も公開しています。画面を操作して視点を変えると、正面映像からでは分からない埼玉大学の魅力が見えてくるかも!?是非ご覧ください。



▲学部紹介



▲サークル紹介

6 学生 社会政策学会第142回大会若手研究者優秀賞受賞 (大学院人文社会科学研究科博士後期課程 朴峻喜さん)

大学院人文社会科学研究科博士後期課程 朴峻喜さんが、社会政策学会第142回大会若手研究者優秀賞を受賞しました。

社会政策学会は、様々な社会問題を扱う伝統のある学会であり、今回受賞した若手研究者優秀賞は、審査対象が院生だけではなく若手研究者も含まれており、その中で最も優秀と認められた研究者に贈られるものです。

禹 宗 教授から自分の仮説を立証するためのデータ収集や分析を徹底のかつ首尾一貫して行うことができる学生と評される朴峻喜さんは、「受賞できるとは思っていなかったの、とてもうれしかった」と喜びの声をあげ、この受賞が次につながるよう、これからも研究を続けていきたいと決意を新たにしました。



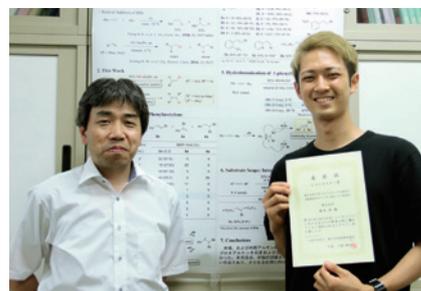
▲朴さんと指導教員の禹教授

受賞題目 労働運動と大学生の連帯— 2013年韓国鉄道組合ストの事例から

7 学生 第10回JACI/GSCシンポジウムにてGSCポスター賞を受賞 (大学院理工学研究科博士前期課程 熊木渉さん)

大学院理工学研究科博士前期課程 熊木渉さんが、第10回JACI/GSCシンポジウムにてGSCポスター賞を受賞しました。公益社団法人新化学技術推進協会 (JACI) は、技術革新の原動力となる新たな化学技術を発展させるため、革新的化学技術の創生や知的技術基盤の整備に貢献する諸事業を推進し、新たな化学技術の普及と利用促進を通じて産業の国際競争力の強化を図り、それにより社会の維持的発展及び国民生活の向上に寄与することを目的としています。

熊木さんが受賞したGSCポスター賞は、35歳以下の若手研究者・技術者を対象として、発表の内容、GSC推進への貢献度、プレゼンテーション等において特に優れた研究に贈られるものです。産学官の委員が審査を行い、今回は161件の応募発表の中から19件が選ばれました。



▲指導教員の三浦教授と熊木さん

受賞題目 臭化水素を用いるアルキンの位置及び立体選択的なラジカル的ヒドロ臭素化

※GSC：グリーン・サステイナブル・ケミストリーの略。人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学と定義されています。

8 研究 大学院人文社会科学研究科 加藤拓巳 講師が2つの賞を受賞

受賞名	Honorable Mention Award
受賞題目	Factors of Employee Satisfaction in the Difference between Frequency and Contribution

この賞は、ビジネスアナリティクスに基づく意思決定に関する研究成果が報告される10th IIAI International Congress on Advanced Applied Informaticsの中で優れた論文に対して授与されるもので、加藤講師はBusiness Management of Technology部門にて受賞しました。

受賞名	Best Paper Award
受賞題目	Verification of the Compromise Effect's Suitability Based on Product Features of Automobiles

この賞は、データサイエンスや人工知能を用いたビジネスやマーケティングの意思決定の高度化をテーマとしたカンファレンスであるKES Intelligent Decision Technologies 2021にて報告されたフルペーパーのうち、優秀な研究を表彰するものです。



▲贈られた賞状

9 男女共同参画 「あつまれ!ひろばトーーーク ~ダイバーシティについて話そう~」を行いました

6月24日(木)、埼玉大学基盤教育研究センター「さいだい交流ひろば」では、事業活動の一環として「あつまれ!ひろばトーーーク ~ダイバーシティについて話そう~ 第2弾」を開催しました。今回は、学外の方の参加もあり、国籍・地域、年代を問わず20名ほどでダイバーシティをテーマに行いました。

当日は3グループに分かれ、特定の職業や学部による男女比の違いや年代による価値観の違いなど、各々が気になっているテーマを共有したり、選択的夫婦別姓など1つのテーマに絞って意見交換をしました。

ひろばトーーークに初めて参加した方も多かったのですが、各グループで会話が弾み、もっと話し合いたかったという声もきかれました。

さいだい交流ひろばでは学部や学年を超えた交流の場となるよう、定期的にイベントを企画していきます。



▲最後に各自好きなものを持っての記念撮影

10
基金

生活に困窮する学生へ2回目の「埼玉大学緊急支援奨学金」を給付しました

— 皆さまからの多大なるご支援に心より感謝申し上げます —

7月9日(金)、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け生活支援が必要となった学生1,262人(在学生全体の約15%)へ、2回目となる「埼玉大学緊急支援奨学金」を給付しました。

この奨学金は昨年5月、生活に困窮する学生を支援するために埼玉大学基金「埼玉大学修学サポート基金」を活用し急遽設立。学内外からのあたたかいご支援のもと、同年6月に1,604人の学生に奨学金(自宅学生3万円、自宅外学生5万円)の給付を行ったものです。

それから1年が経過した現在も、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない状況にあり、その影響を受け続けている学生へ「学びを諦めないで欲しい」と卒業生をはじめ学内外の多くの

皆さまより、あたたかいお気持ちをお寄せいただいたことにより実現いたしました。

今までご支援いただいた皆さま、そして継続的にご支援いただいている皆さまの多大なご支援にあらためて御礼申し上げます。なお、本学では、新型コロナウイルスの影響により、学生生活に支障をきたすことがないよう、「埼玉大学修学サポート基金」の募集を継続して行っております。引き続き、ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、学生からの感謝のメッセージを一部ではございますがご紹介させていただきます。

○寄附者の方々にも新型コロナウイルスの影響があると思いますが、多くの埼玉大生のために、寄附していただき、感謝しかありません。このご恩を忘れずに勉強に励み、将来後輩や困っている人々に手を差し伸べられる人になるよう頑張ります。ありがとうございます。

○母子家庭であることに加えて、新型コロナウイルスの影響で収入が激減していました。毎日課されたことをこなすのにいっぱい、経済的にも精神的にも余裕が全くない状態でしたが、今回の支援でなんとか頑張って生きていけそうです。本当にありがとうございます。

○私のような私費で留学している学生達に、大学から支援いただきまして、本当に助かります。特に私みたいな留学生達、家族から経済的な支援どころか、普通の連絡も難しくなって来た今の時期、日本政府から、日本人の皆様から色々支援頂いています。ありがとうございました!

埼玉大学基金室より 埼玉大学古本募金 きしゃぼんのご案内

いつも埼玉大学基金へのご理解とあたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。

今回は、埼玉大学古本募金のご紹介をさせていただきます。埼玉大学古本募金は、読み終えた書籍やDVD等を「古本募金 きしゃぼん」(運営:嵯峨野株式会社)にお送りいただくことで、その査定額を埼玉大学基金にご寄附いただく制度です。5冊(5点)以上であれば送料は無料です。

詳細は下記ホームページにてご案内しております。

今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



(WEB受付) 24時間・365日



埼玉大学 古本募金



www.kishapon.com/saitama-u/



(電話受付) 9時～18時



0120-29-7000

「埼玉大学への寄付」とお伝えください

◆埼玉大学基金のご報告

令和3年9月末の状況

601,345,514円

うち古本募金「きしゃぼん」によるご寄附 **1,281,207円**

埼玉大学基金室 (広報渉外室内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp 🌐http://www.saitama-u.ac.jp/funds/

